

飯田版ZEH仕様 CO2削減量換算シート

設計住宅基本データ（基本性能）

延べ面積	125.00	m ²
主たる居室の床面積	31.80	m ²
その他の居室の床面積	43.70	m ²
非居室	49.50	m ²
外皮面積	328.54	m ²
設計UA値	0.60	W/(m ² ・K)
基準一次エネルギー消費量(その他の設備を除く)	66,628	MJ
設計一次エネルギー消費量(その他の設備を除く)	49,256	MJ
一次エネルギー消費量削減量(設計による)	17,372	MJ
BEI	0.74	—

設計住宅基本データ（地域の特色）

全体木材使用量				24.00	m ³
飯田・下伊那産木材使用量	桧	20.00	m ³	20.00	m ³
	杉	0.00	m ³		
	赤松	0.00	m ³		
	唐松	0.00	m ³		
	その他()	0.00	m ³		
飯田・下伊那産木材使用率				83.33	%
飯田市内に本社・本店を置く設計事務所による設計				あり	—
飯田市内に本社・本店を置く工務店・建設会社による施工				あり	—
南面に日射遮蔽に有効な庇を設置している居室数	主たる居室			1	室
南面に日射遮蔽に有効な庇を設置している居室数	その他の居室			2	室
通風経路が確保された居室数	主たる居室			1	室
通風経路が確保された居室数	その他の居室			2	室
庇以外で日射遮蔽に有効な措置を設けた居室数	主たる居室			0	室
庇以外で日射遮蔽に有効な措置を設けた居室数	その他の居室			0	室
雨水タンク設置				あり	—
薪ストーブ設置				なし	—
ペレットストーブ設置				あり	—
太陽光発電設備搭載量				0.00	kw
太陽熱温水器搭載量				4.00	m ²
HEMS導入				あり	—
設計二次エネルギー消費量の消費電力量				6,767	kwh
既存住宅の床面積（※リフォームの場合のみ入力）		木造		125.00	m ²

	: UA値、一次エネ算定時と同じ値を入力
	: UA値、一次エネ算定結果を入力
	: 設計住宅の仕様を入力
	: 設計住宅の仕様を選択

基本性能によるCO2削減量

UA値0.6以下	0.767	t-CO2/年
基準一次エネルギー消費量から20%以上の一次エネルギー消費量を削減		
(UA値による一次エネルギー消費量の削減量を除く)		

地域の特色によるCO2削減量

飯田・下伊那産材を活用(ウッドマイレージ)		0.112	t-CO2/年
飯田・下伊那産材を活用(炭素固定量：桧)		0.497	t-CO2/年
飯田・下伊那産材を活用(炭素固定量：杉)		0.000	t-CO2/年
飯田・下伊那産材を活用(炭素固定量：赤松)		0.000	t-CO2/年
飯田・下伊那産材を活用(炭素固定量：唐松)		0.000	t-CO2/年
飯田・下伊那産材を活用(炭素固定量：その他)		0.000	t-CO2/年
市内設計事務所での設計		※ 0.006	t-CO2/年
市内工務店での施工		※ 0.064	t-CO2/年
地域の建築材料の使用		個別判断	t-CO2/年
南面に日射を遮る庇の設置(主たる居室)		0.020	t-CO2/年
南面に日射を遮る庇の設置(その他居室)		0.014	t-CO2/年
居室における通風経路の確保(主たる居室)		0.020	t-CO2/年
居室における通風経路の確保(その他の居室)		0.014	t-CO2/年
日射遮蔽手法の活用(主たる居室)		0.000	t-CO2/年
日射遮蔽手法の活用(その他の居室)		0.000	t-CO2/年
雨水タンクの導入		※ 0.002	t-CO2/年
もりのエネルギー活用機器の導入	薪ストーブ	※ 0.000	t-CO2/年
	ペレットストーブ	※ 0.804	t-CO2/年
おひさまのエネルギー活用機器の導入	太陽光発電設備	0.000	t-CO2/年
	太陽熱温水器	0.514	t-CO2/年
エネルギーの見える化設備の導入		0.292	t-CO2/年
リフォームにより解体が不要となった分 (※リフォームの場合のみ)		0.051	t-CO2/年
※固定値		合計 3.177	t-CO2/年

基準CO2削減量…①

設計CO2削減量…②

基準－設計(①－②)

2.942	t-CO2/年
3.177	t-CO2/年
-0.235	t-CO2/年

判定

OK

基準一次エネルギー削減量…③	66,628.00
設計一次エネルギー削減量…④	71,950.98
達成率	108%

